



「障害のある児童生徒等に対する早期からの一貫した支援について（通知）」（平成25年10月4日）によると、自閉症・情緒障害特別支援学級の対象の児童生徒は以下のように書かれています。


- 一 自閉症又はそれに類するもので、他人との意思疎通及び対人関係の形成が困難である程度のも
- 二 主として心理的な要因による選択性かん黙等があるもので、社会生活への適応が困難である程度のも



自閉症・情緒障害特別支援学級では、人との関わりを円滑にし、生活する力を育てることを目標に指導を進めています。担任として、日常生活習慣の形成のための指導と人に関わるための指導の中から、情緒を安定し、友達や教職員と一緒に活動する喜びや楽しさを味わうような学習活動となるように心掛けています。どんな授業をつくらうかと考えるのは、担任の醍醐味でもあります。





自閉症・情緒障害 小学校

集団で活動しよう

<p>自立活動</p> <p>実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団の中で自分の気持ちを表現することが苦手だが、少人数なら表現することができる <p>実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年から6年までの縦割り班で活動する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>例えば…</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ゲームをしよう ○季節の壁面飾りを作ろう ○近くの公園で遊ぼう ○遊びコーナーを作ろう 企画や運営をする ○遠足に行こう 相談して決める (班員、行き先や交通手段、ルール、係活動、持ち物) 作成する (しおり、まとめの新聞) </div>	<p>自立活動</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「～したい」気持ちを表現する ・友達の意見を聞く ・グループ内で話し合い、物事を決める
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 低学年は高学年への憧れ 高学年は低学年への思いやり </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> できることは自分で できないことはHELP発信を </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 10px;"> <p>集団でゲームをするときの約束</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ゲームは負けることもある。 2. ルールを守る。 3. ずるとしない。(はら1回1枚) 4. 負けはさわがない。 5. 最後までやる </div> </div>	
<p>担任の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が周りの人とのコミュニケーションをとりながら、折り合いを付けられるようにする ・挨拶、言葉遣い、約束など、将来を見据えて必要な力を付けられるようにする ・力を合わせないとできない活動や、複数で行う方が楽しくなる活動を取り入れる 	

自立活動	自立活動
実態	目標
<ul style="list-style-type: none"> ・勝ち負けにこだわり、負けたときは泣いて友達とトラブルになる ・視覚的な支援があるとルールを理解できる ・黒板を写すとき、どこを見ていいか混乱する 	<ul style="list-style-type: none"> ・勝っても負けても最後までゲームができる ・友達と交代してゲームを楽しむことができる ・ルールを意識して身体を動かす ・見る力を高める
実践	
<ul style="list-style-type: none"> ・サーキットゲーム 手型や足型の指示を合わせて一周する 友達の活動を応援し、良いところを伝える ペアで協力してサーキットを回る 	 <p>視覚的に分かりやすい教材を使ってコースを設定する</p>
<p>はみ出さない、設定時間に合わせてゴールする等、ルールを変更する ペアのときにバランスボールを体ではさんだり、手をつないだりしてお互いの動きを感じながら活動する 「どんまい!」「次があるよ!」とお互いに声かけをし合うことができるようにする</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ころころキャッチ（机の端から転がしたボールを受ける） ボールの大きさや個数を変える 片手・両手・道具を変えて難易度を変化させながら取り組む 	 <p>目と手の協応の力を付ける取組をする</p>
担任の願い	
<ul style="list-style-type: none"> ・コースやルールを児童自身が決めることで、モチベーションの向上とチャレンジしたい気持ちを育む ・興味のある題材やストーリー性をもたせて、児童自ら注目する力を付けられるようにする 	

自立活動	自立活動
実態	目標
<ul style="list-style-type: none"> ・失敗経験が多く自己肯定感が低い ・自分の状態や気持ちに気づきにくく、表現が苦手 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の得意・不得意を知る ・適切な方法を見つけて成功する経験を積み重ねる
実践	
<ul style="list-style-type: none"> ・自分が「できる」「分かる」方法を知る 伝言の場面・テスト勉強の仕方や予定の立て方 読みやすいフォントやポイント数 ・自分の不得意を知り、必要な事柄は他者に依頼する 見通しが必要…「次の予定を教えてください」 その場で質問するのは難しい…事前に質問事項を書いて「教えてください」 聴覚的な苦手さがある…「ゆっくり話してほしいです」、「紙に書いてください」 ・自分の状態を分かり、担任との約束のもとリラックスルームへ行く ・自分の気持ちを教員に伝えることができる 	 <p>メモをとりやすいのはどのタイミング？</p> <p>僕は話を聞き終わってからメモをとる方がいい</p>
<p>どこに行くのか、どうなれば戻ってくるのか、何を教員に知ってもらいたいのかなど、自分の思いを表現できる方法を準備しておく</p>	
担任の願い	
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身ができないと思わず、自分に合った方法を見付ければ「できる」という自己理解や自己決定ができるようにする ・生徒が自分の状態や気持ちについて理解することができるとともに、人に伝えることができ、分かってもらえたという経験が積めるようにする 	